

第5回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日 時	平成24年10月24日（水） 13:00～14:00
場 所	豊橋市役所 コミュニティルーム
報告者	鈴木啓靖
出席者	別紙のとおり
傍聴者	なし

1 開会

2 会長あいさつ

○議事録署名者 青木晶子委員、伊藤麻里子委員

3 議題

(1) 副会長の選任について

※委員の互選による選出の結果、以下のように決定

副会長 坂神 信吉 委員

(2) 豊橋市市民協働推進補助金の見直しについて

◇提言について

**委 員**：個人の小口寄附の1件あたりの金額の増加は期待できないのでは。それよりも、事業者による寄附に重点を置くべきだと思う。

**事務局**：豊橋市の場合、市民協働推進課の事業だけでなく豊橋まつりなど諸々の事業で企業に寄附を募っていることもあり、単純に寄附を募ることだけでなく、寄附することによるメリットをつける、寄附しようと思える部分を加えることが今回の提言となっている。

**委 員**：ハード補助金について、残り114万円はつつじやくすのき補助金で使えないのか。また、もし平成25年度も応募が0件だったら返還しなければいけないのか。

**事務局**：あくまでハード事業のためという条件の拠出金であり、用途が限られていてつつじ・くすのきへの流用はできない。また、もしハード補助金への応募がなくても、使い切るまで翌年度に繰り越していくことになる。

**委 員**：つつじ補助金の応募期間が設立から5年以内に伸びるが、つつじ補助金は受けていないがくすのき補助金を受けたことがある設立から5年以内の団体が、今回期間が延びることによりつつじ補助金に応募することはできるのか。

**事務局**：要綱上は可能かもしれないが、スタート補助金と位置付けている補助金をすでに活動を始めて補助金も受けている団体に交付することが妥当かどうか、審議会の審議事項になる。そこでの議論でやはり妥当でないという判断になれば、つつじ補助金の団体の要件に「今まで市民協働推進補助金を受けていない団体」という

一文を加えれば、くすのき補助金を受けている団体がつつじに応募することはできなくなる。

委員：補助率などの具体的な改善策などは入っていないがこれでよいのか。

事務局：あくまで提言なので、大きな方針を文章でまとめてある。細かな具体策や数字は提言提出の際などに別途伝えてもらいたい。

◇補助金の計算方法について

委員：団体にとってはA案の方がありがたいのでは。

委員：もし市から補助金をもらった後に他の補助金がもらえることになったらどうなるのか？

事務局：補助金は概算払いで支払い、事業完了後に精算してもらう方法を取っており、もし他の補助金が入ったことにより収入が支出を超えた場合には精算の際に返還してもらうことになる。

委員：B案では計算方法が難しいと思う。

委員：他の補助金を申請している当事者の立場で考えると、A案のように他の補助金を自己資金の枠組みに入れておいてもらえば、もし補助金がもらえなければその分は自己資金から出す、とあらかじめ想定できる。

会長：計算方法についてはA案ということで決定してよろしいか。

委員：異議なし。

4 その他

次回は平成24年11月28日（水）。同日提言を市長に提出予定。

提言について、もし新たに意見があれば11月2日（金）までに事務局へ。

5 閉会

平成24年11月28日

議事録署名者

青木 晶子 ㊟

伊藤 麻里子 ㊟

## 第5回豊橋市市民協働推進審議会出席者名簿

NO	氏 名	選 任 区 分
1	あおき あきこ 青木 晶子	公募 (とよはし女性フォーラム)
2	いとう まりこ 伊藤 麻里子	国際交流協会から推薦 (CSN豊橋(愛知大学4年))
3	いわさき まさや 岩崎 正弥	学識経験者 愛知大学地域政策学部教授
4	さかがみ のぶよし 坂神 信吉	豊橋市自治連合会から推薦 (豊橋市自治連合会監事)
5	すずき としい 鈴木 稔依	豊橋商工会議所女性会から推薦 (豊橋商工会議所女性会会長)
6	せがわ ちとし 瀬川 千敏	公募 (豊橋防災VCの会)
7	てらだ やすお 寺田 康生	市民センター指定管理者から推薦 (NPO法人 NPO愛知ネット)
8	ふくおか よしひこ 福岡 吉彦	豊橋市社会福祉協議会から推薦 (豊橋市社会福祉協議会職員)

### 《事務局》

市民協働推進課 課 長 金子 尚央  
主 幹 中山 久美子  
課長補佐 河合 幸子  
主 査 内藤 政宏  
主 査 中澤 浩英  
主 査 吉田 節子  
主 事 加藤 純子  
主 事 鈴木 啓靖